

長月俳句・短歌集

みなみうわ俳句会

川曲がりトロツコ列車に青葉風
登場のイケメン案山子青田風
睡蓮の白に憩うや糸蜻蛉
鮎を食む一氣に夏の来たりけり
太公望竿を持つ腕蚊にさされ
家内中一つの蚊帳に入りし頃
花合歡を曲がり曲がりて山の寺
万緑の山を結びて沈下橋
お気に入りガラスの器夏の朝

田口ひさ子
小島 泰子
若林八重子
濱 初榮
長尾 則夫
宮下 峰月
木村 智子
中川千代子
矢鋪 都

御莊俳句会

爽やかや石に座れば石の声
白亜なる家のつづきて秋晴るる
夏帯をきりゝと締めて茶道口
湯上りの縁に風呼ぶ麦茶かな
ずつしりと五体の沈む西瓜かな
遠近に牛放たれて鬮雲

檳榔子
棒つきのアイスクャンデー五円の頃

加洲勢津子
山本 金子
尾崎 松恵
若林八重子

はじめまして。赤ちゃん。

7月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
御莊平城	山下 劉也	じゅんじ 文彦
須ノ川	末廣 大悟	ふみひこ 文彦
城辺甲	藤本 創史	よし のぶ 吉信
満倉	和泉 遼	りょう 剛
柏	藤堂 允暉	よしゆき 幸義
御莊平城	和泉 秀汰	しゅう た 透
御莊平城	山田 湊	ゆう き 己裕
蓮乗寺	眞榮田 旺芽	よし お 夫義
城辺甲	河野 那瑠	けい た 太慶
御莊平城	山岡 蒼愛	そ あ ら 成仁
須ノ川	小笠原 杏奈	くにしげ 邦茂
城辺甲	田野 唯都	りょう 良

ご冥福をお祈りします。

7月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
深浦	上原 定	86歳
御莊長洲	大山 ヤス子	83歳
御莊平城	工藤 ミエ子	91歳
平 簪	牧野 よし子	54歳
鮪 越	久徳 ふみ文	56歳
御莊平城	清水 まつ子	89歳
御莊平城	大和田 いち郎	60歳
緑 乙	山内 ひろ弘	84歳
僧 都	赤松 たま子	86歳
岩 水	岩田 ミツエ	94歳
緑 甲	木村 つね常	94歳
須ノ川	木村 アヤ子	86歳
城辺甲	村田 さとし覚	57歳
城辺甲	大西 さち子	84歳
久 良	本多 カズエ	84歳
満 倉	山下 まさ政	90歳
下久家	池田 きみつ光	86歳
平 簪	濱田 ふさ房	46歳
久 良	永峰 ユキエ	98歳
城辺甲	吉田 いち元	90歳
緑 乙	増崎 この好	59歳

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。

西海俳句会

コロツケと胡瓜の酢物孫を待つ
ほほ螢死ぬまで光り輝いて
浜木綿の白い冠孫二才
菩提寺へ供える盆の大楳
深々と里山蜻蜒現るる

吉田 久江
利根早智江
吉田 朝子
吉田 笑代
吉田 弘定

新くさの葉短歌会(はこべ)

弱りたる手の運動と閑あれば古きタオルを雑巾にさす
還り来まさぬ兄おもいつつ浄水そそぐ「アツツ桜」と売られるし花
亡き夫に下りし眉毛のそっくりと言われる曾孫に親しみの増す
久しぶりに帰りし義妹は何やかや世話して帰りに長生きしてねと
人まばら崩れし塀も風情あり夫とまた来む杵築の街並
立ち寄りし閉店前の道の駅に残れる鬼灯ためらはず買ふ

倉田美津枝
斉藤トミ子
市川コマエ
長田ハル子
西崎 文恵
前田 充